

平成 28 年度 事業 計画 書

(平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで)

1 体験交流事業

① さっぽろの子どもを育む事業

さっぽろの子どもたちが豊かな感性を育み心身ともに健全な青少年として成長することを目的に開催される事業に対し、ジュニアリーダーの発想が活かされるような活動を推進します。

・『札幌市子ども大会～10の星フェスティバル～』を平成 28 年 10 月 15 日（土）に開催します。

野外、屋内にかかわらず集団での体験や活動が少ない子どもたちに、豊かな自然の中で生活する体験事業を推進します。

・各支部での『子ども会学校』を開設します。

各支部の特性・特色を生かした事業を実施します。

- ・ドリーム号
- ・お泊り会
- ・健康まつり
- ・ミステリーの旅
- ・かるた大会
- ・区民まつり
- ・冬まつり
- ・ぶどう狩り
- ・子ども体験塾
- ・ジャンボリー

その他、他市町村に出向き農業体験などを行う交流事業を実施します。

② 子どもまつり開催事業

区内の多くの子どもたちや地域住民が参加し、各支部の特色を生かした事業を企画、実施します。

- ・各支部における「子どもまつり」の開催
- ・遊芽カーニバルやノースロードの開催

③ 子どもの居場所づくり事業

地域の子子どもたちが様々な活動ができる居場所を開設し、子ども会員のみならず多くの子どもたちがいきいきと参加し活動することで交流の輪を広げていきます。また、事業を開催するにあたり安全確保に努め、内容の充実を図り、子どもたちとジュニアリーダーが活動する場・体験する場を設けます。

・各支部において、小学校、地区会館などを会場に 70 回程度実施します。

④ 大志塾事業

札幌市の子どもを対象に市内各地から大志塾活動広場に集まった仲間やジュニアリーダーと触れ合うことで同年代、異年齢と交わる楽しさを味わってもらうための『大志塾事業』を実施します。

大志塾事業を修了した子どもたちについては、支部事務局を経て養成・初級のジュニアリーダー研修生として受け入れを行ないます。

- ・第1回 5月14日(土) 北区民センター
- ・第2回 6月11日(土) 大志塾広場
- ・第3回 7月2日(土) 大志塾広場
- ・第4回 7月16日(土) 大志塾広場
- ・第5回 8月6日(土)～7日(日) 大志塾広場、西岡キャンプ場
- ・第6回 8月27日(土) 村まつり、大志塾広場

⑤ 少年育成団体交流事業

少年育成6団体(日本ボーイスカウト北海道連盟札幌地区、ガールスカウト札幌地区協議会、札幌海洋少年団、札幌市スポーツ少年団、札幌鉄道少年団、札幌市子ども会育成連合会)の関係者で子どもの健全育成に関わる問題点などを協議し、各少年団体の更なる活動推進を図ります。

また、6団体の交流とPRを目的としたイベントの企画、運営を計画します。

- ・友遊キッズランドを平成28年9月24日(土)に札幌駅前通地下歩行空間において開催します。

⑥ 野外活動推進事業

子どもたちの健全育成のための活動を市内の各青少年キャンプ場を利用して野外活動の啓発とキャンプ場の利用増大を図るために各支部主催のもとに事業を開催します。

- ・支部キャンプ
- ・冬の体験キャンプ
- ・3世代交流キャンプ
- ・雪像やかまくら作り

⑦ キャンプ場管理運営事業

札幌市が3区(厚別・豊平・手稲)に設置しているキャンプ場について当会が委託を受け管理運営し子ども会や地域のファミリー、その他各種青少年育成団体などの利用促進に努め、一層の野外活動及び体験学習の普及を図り、各支部のジュニアリーダー養成研修においても積極的に活用します。

なお、西岡青少年キャンプ場(豊平)、小野幌青少年キャンプ場(厚別)、手稲区青少年キャンプ場について活動可能な時期を拡大することを検討し、学校や地域において積極的に炊事や遠足などに活用してもらえるようにPRしていきます。

2 育成事業

① ジュニアリーダー養成研修事業

ジュニアリーダー養成の基本的な考えとして「心とワザを磨こう!～子どもたちに魅力のあるリーダーを育てよう～」をテーマとし、思いやりのある心豊かなジュニアリーダーを養成するために研修内容を充実させ、日常の子ども会活動をはじめ、あらゆる機会にジュニアリーダーとして実践する場を設けます。

サブテーマとして「個性あふれる人間性の豊かな子どもを育てよう。」を研修の基本柱に入れて、ジュニアリーダーの心に社会や家族、周囲に感謝する気持ちが育まれるよう取り組んでいきます。

研修内容も他区との相互交流研修を実施するとともに各支部の独自性を高める研修など、子ども会や地域の活動に生かせる工夫をし、活動の充実と活性化につながる研修を行います。

・ジュニアリーダー基本研修(養成)

子ども会活動を通して、地域における子どもの健やかな成長の推進を図るため、集団活動において必要な基礎的知識及び技術を習得させ、活動の中心となるリーダーを養成します。また、より多くの子どもたちが参加できるように実施します。

・ジュニアリーダー基本研修(初級)

・ジュニアリーダー基本研修(中級)

養成研修等での基礎的知識や技術を習熟させ、養成研修等において小学生を牽引しリーダーシップが発揮できるよう、地域に即したより実践的で質の高いリーダーを養成します。

・ジュニアリーダー基本研修(上級)

子ども会活動等を通して、地域における子どもの健やかな成長の推進を図るため、これまでのジュニアリーダー研修で得た知識及び技術を更に向上させ、集団生活における高度な指導力及び豊かな創造力を持つリーダーを育成します。

・ジュニアリーダー実践研修(研修生)

名 称 区 分	対象学年	内 容	所 管	参加 予定者数
(1)ジュニアリーダー養成研修	小学5年生以上	開講式(1日) 夏季・冬季(各1泊2日) 秋季(1日) 閉講式・修了式(1日)	各支部	1,200名
(2)ジュニアリーダー初級研修	中学1年生以上			
(3)ジュニアリーダー中級研修	中学2年生以上			
(4)ジュニアリーダー上級研修	高 校 生	開講式(1泊2日) 夏季(1泊2日・2泊3日) 秋季(1日) 冬季(2泊3日) 閉講式・修了式(1日)	本 部	200名
(5)道 内 研 修	中 高 生	1年間の集大成・まとめ(2泊3日)	各支部及び本部	200名

② リーダー研修事業

ジュニアリーダーが地域に帰り実践活動をより充実させるため、各支部はジュニアリーダーの活動に対する方策を積極的に助言・支援します。また、ジュニアリーダーに各種事業への支

援を要請し、活動の活発化を促します。

地域活動に必要なジュニアリーダーとしての知識や技術を修得し、他都市の活動を知り、更にその意識を高めるため、各種研修会に派遣し、各支部の研修に生かしていきます。

- ・指定都市リーダー会議 平成28年8月5日(金)～7日(日) 横浜市で開催されます。
- ・全子連シニアリーダー会議 平成28年9月18日(日)～19日(月) 東京都で開催されます。

各支部修了生の会の活動推進を図るための支援をいたします。

③ 育成者支援事業

単位子ども会のみならず子どもの育成に関わる育成者の資質向上と関係機関との連携を図り、指導者の養成を目指します。また、育成者全体の交流を図るための研修会を開催するとともに各区支部において支部の実情に沿った研修会を開催します。

また、少年育成団体に関する諸課題について認識を深め、他都市の実態を知るとともに運営技術などを修得し、地域活動に還元してもらうために各種研修会に育成者を派遣します。

- ・指定都市大会 平成28年11月5日(土)～6日(日) 熊本市で開催されます。
- ・全子連大会 平成29年2月17日(金)～19日(日) 福岡県久留米市で開催されます。

④ 職員研修事業

本部及び支部事務局の職員に対し、各事業を実施するにあたり子どもたちを指導できる資質やワザを磨くための研修を行います。

- ・経理、共済等の事務員研修を行います。
- ・キャンプ場での実技研修を行います。

⑤ 指導員派遣事業

ジュニアリーダーや指導者がいない地域の活性化を図るために、『この指とまれ!』事業として札子連に登録しているジュニアリーダー及びジュニアリーダー上級研修生を派遣し、地域の子どもたちや関係各種団体の活動が円滑に行われるよう支援します。例えば、野外活動やキャンプなどに必要な技術やレクリエーションの指導を行うとともに、KYT(危険予知トレーニング)を通して活動の安全確保に努めます。

⑥ 子ども会活動活性化事業

単位子ども会が行う事業のなかで参加した子どもと大人が異世代ふれあいを通じた交流や地域への愛着を育むような事業に対し、活動の助成をします。

- ・ふれあい体験事業 10支部 20子ども会

ボランティア精神を育むため、『赤い羽根共同募金』に協力します。

各支部において地域の子どもを主体とした事業を開催します。

- ・フォーラム
- ・サミット
- ・パネル展

⑦ 子ども会活動表彰事業

子ども会及び育成者組織にあつては7年以上、子ども会の育成者にあつては10年以上活動を継続してきた団体及び個人を対象に、表彰状並びに記念品を贈呈して表彰します。

全国子ども会連合会には20年以上、指定都市子ども会育成連絡協議会には15年以上継続して活動してきた団体及び個人について審査会を経て推薦します。

3 普及啓発事業

① 広報活動事業（子ども会加入促進事業含む）

子どもたちとその保護者、地域の人たちに対して子ども会の意義や活動の楽しさを知っていただき、子ども会員の加入促進を図ります。

また、各支部の活動やジュニアリーダー研修、その他事業について多くの人たちに知ってもらうためにホームページ上で広く活動状況や情報を掲載します。他にも、事業を紹介していくために機関紙を発行し、情報公開に努めていきます。

- ・広報「さっぽろっ子」の発刊 年3回
- ・目で見ると札幌の子ども会の発刊 年1回
- ・各支部機関紙の発刊 随時

4 安全会事業

① 子ども会安全会事業

安全思想の普及を図るためKYT（危険予知トレーニング）や安全に携わる事業を行うとともに、子ども会活動または諸事業に安心して参加してもらうため育成者や子どもたちに安全共済会への加入を推進していきます。全子連との契約業務により共済金・見舞金などに係わる業務も行い、各支部においても同様に業務を行います。

また、地域の子どもの会活動で、10年間無事故である子ども会に、賞状並びに記念品を贈呈して褒賞します。

5 その他

- ① 各専門部(子どもいきいき部、育成者支援部、さっぽろっ子部)の活動強化に努めます。
- ② 財政状況の厳しい中、将来的な課題として収益事業への取り組みの検討を進めるとともに、賛助会員の募集、勧誘に努めます。
- ③ 公益社団法人として適切な事業運営を行い、継続的な事業展開のため、事業単位ごとの収支状況を適宜把握しながら、経営基盤の安定化を図ります。